



ニュース

一般社団法人
全国交通信号工事技術普及協会
第14号 平成26年 3月 7日

一般公開

第4回交通信号工事士技能検定要領

ごあいさつ



常務理事 古市 光明

(株)シンコー
代表取締役社長

平成26年は午年です。もともとは、突き当たる、逆らうといった意味を含む「忤」の字があらわれていたそうですが、時代とともに「午」があらわれるようになったようです。「午」は「杵」からきており上下に動くという意味を含んでいるそうです。

当協会の目的の一つである「交通信号工事士」についても、社会に認定していただくために上下運動を続けてまいりました。そのシステムの基本となる「交通信号工事士技能検定」がようやく今年から一般公開となり、「杵」、「馬」に通じる飛躍の年となると信じております。

折角の機会でありますので、当協会の現状と今後の展開について若干お話をさせていただきますと思います。協会に入会していただいている企業は正会員136社、準会員は48社、2個人となっております。当協会の主要事業であります「交通信号工事士技能検定」の実施と「交通信号工事技術講習会」の開催につきましては、平成26年度で4回目となります。

「交通信号工事士技能検定」に合格され交通信号工事士となられた方は1661名となりました。また、「交通信号工事施工ハンドブック」を今年から販売する予定としております。この「交通信号工事施工ハンドブック」は、交通信号工事に携わる方々の座右におかれ、必要な知識が直ちに得られるものと期待しております。そして、交通信号工事士技能検定のテキストにも使用されることとなっております。

また、関係機関、関係業界等社会一般に対し当協会の名前をより知っていただくためにロゴを制作いたしました。

昨年、試験開催いたしました「交通信号甲子園」につきましては、会員皆様から絶大なる好評をいただきました。本年においては全国開催を目指し複数開催したいと考えております。

当協会の発展は、会員皆様のご支援、ご協力により成り立っております。さしあたり今年度の会員獲得数400社を目標として、今後とも引き続き皆様方の温かいご理解を賜りますようよろしくお願いいたします。

協会ロゴ



全国交通信号工事技術普及協会ロゴマーク



交通信号工事士ロゴマーク

当協会の存在を関係機関、関係業界等に広く知っていただき、より身近な協会として発展していくことを目的に、今回2種類のロゴを制作いたしました。

○ 協会を表現したロゴです。

当協会の事業目的である交通信号機は、交差点の要です。交差点は、道路と道路が交わった場所です。そこでは異なった交通が交差するためその制御が必要となってきます。ロゴの中心にあるのがその交通信号機を、周辺は道路を表現しています。

その中心にある赤、黄、青の三色、しかも僅か直径30センチの灯火が道路交通の安全と円滑を保っているのです。それはとりもなおさず全国民が交通信号機を信頼しているということです。その信頼されている「光」を常に維持し続けるために絶え間ない努力をしているのが当協会の役割であるということの意味しております。

○ 「交通信号工事士」のロゴです。

「交通信号工事士」の資格を取得された方は、このロゴをヘルメット側面に貼付していただいたり、名刺に印刷していただくことにより、資格を有し一定の知見があることを表すことにより、知名度が上がり、ステータスが高くなることが期待されます。

交通信号工事技術講習会の開催

技術講習会が下表の日程で開催されます。開催場所は、下記の「平成26年度交通信号工事技術講習会開催場所」表のとおり、5会場で開催いたします。

今回から新しく「安全管理」講座を設けました。

元オムロンフィールドエンジニアリング(株)に勤務されていた坂東喜行氏が担当し、「交通信号工事施工ハンドブック」に基づき工事中の安全や健康について講習を実施します。

また、視聴覚教材として、常盤電業(株)が社員教育のために信号工事内容を収録したビデオと昨年開催しました「交通信号甲子園」の記録ビデオを上映する予定にしております。

また、制御機の設定についても、動画化し講習資料を視覚に訴える等創意工夫を凝らし、受講生の皆様が現場で役立つ資料の提供に一層心掛けています。

1 開催場所

平成26年度交通信号工事技術講習会開催場所

開催日	開催場所	定員
H26.5.20(火)	茨城県立県民文化センター 茨城県水戸市千波町東久保697	100
H26.5.22(木)、6.4(水)	大宮ソニックシティ 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-7-5	100
H26.5.23(金)、6.3(火)	科学技術館 東京都千代田区北の丸公園2-1	90
H26.5.27(火)	市民会館崇城大学ホール 熊本県熊本市中央区桜町1-3	60
H26.5.29(木)	大阪府社会福祉会館 大阪府大阪市中央区谷町7-4-15	100

注:埼玉会場は、5.22(木)の受講希望者が定員を超えた場合のみ6.4(水)にも開催します。

東京会場は、5.23(金)の受講希望者が定員を超えた場合のみ6.3(火)にも開催します。

2 受講申込受付期間

平成26年3月10日(月)～平成26年3月24日(月)

3 講習内容

○「交通信号制御機の構成と機能性能について」

講師 倉田 英郎(元三重県警察)

最近の交通信号制御機について、基本的な機能、性能及び付加機能について。接続機器、フェイルセーフの考え方。障害時の交通信号制御機内部のチェックポイント及び外部機器との切り分けについてなど

○「交通信号制御の基礎知識」

講師 倉田 英郎(元三重県警察)

信号交差点の渋滞対策と事故防止についてどのような対策をすれば良いか。また信号機を設置するための三大要素(交差点、設計、運用)を基にどのような信号機を設置すれば良いか。

○「安全管理」

講師 坂東 喜行(元オムロンフィールドエンジニアリング(株))

「交通信号機施工ハンドブック」やビデオを活用し、工事中に健康に働くことや安全に作業する方法等を事故事例を紹介しながらわかりやすく説明します。また、関連法令についても解説します。

4 受講料

定期講習対象者: 5,400円(消費税込み)／人

会員一般受講者: 8,640円(消費税込み)／人

「交通信号工事施工ハンドブック」

事前は無償配布しますので受講者は持参してください。

5 今後の技術講習会開催予定

実施年月	H26	H27	H28	H29	H30
	5～8月	5～8月	5～8月	5～8月	5～8月
開催予定地	水戸市	東京都	東京都	東京都	東京都
	さいたま市	大阪市	静岡市	盛岡市	未定
	東京都	名古屋市	長崎市	名古屋市	未定
	熊本市	未定	未定	未定	未定
	大阪市	未定	未定	未定	未定

平成23年取得した資格の有効期限 →

平成24年取得した資格の有効期限 →

平成25年取得した資格の有効期限 →

Traffic Signal Construction Engineer

TSE

第4回

平成26年度

交通信号工事士 技能検定

施工の安全性と確実性を確保し、施工効率を高めるためには、
施工に関する技術の向上と、幅広い専門知識が必要です。

どなたでも受験できます。

- 試験日** 平成26年8月3日(日)
- 試験会場** 東京、愛知、大阪、福岡、札幌、岩手、宮城、新潟、広島、香川、長崎
※応募状況により上記以外での開催もあります。
- 取得資格** 第2種交通信号工事士
- 受験料** 一般 / 11,300円 協会会員 / 8,300円 (いずれも消費税別)
- 受験申込** 平成26年4月1日～平成26年5月20日まで
- 合格発表** 平成26年11月末日 ※協会ホームページに掲載

★詳しくは WEB に掲載

▶▶▶ <http://www.zenshinko.jp>

全信工



検索



交通信号施設工事技術向上と業界の健全な発展を目指して



一般社団法人
全国交通信号工事技術普及協会

〒130-0026 東京都墨田区両国 2-1-4
TEL.03-6659-3586 FAX.03-3846-5582

全国の信号機工事に携わる方々から「仕事に役立つこと」、「ちょっと気になること」、「技術的なこと」等々の記事を掲載するスペースを1ページ設け、投稿を募集しております。なんでも結構です。思いつくままに執筆していただき、投稿していただきたいと思います。

第2回は、(株)京三製作所の風間洋氏に執筆頂きました。

タイトル「お天気まかせ」

工事日程

交通管制センターの端末機器の設置工事の日程は、メーカーからの機器の出荷日程と契約上の工期の間に設定されます。工期は端末機器の設置工事のみならずセンターとのオンライン接続や信号制御を含む総合調整を完了してから発注者への引渡しとなり、これら設置工事完了後の諸作業にかかる時間も確保した日程が必要な場合があります。全体の日程に余裕があることは希なことで、大抵はぎりぎりの日程で予定が立てられることが多いのです。

日程の遅延

もちろん、ぎりぎりの日程を遵守するため、綿密な計画を立て、それを厳密に実行するように最大限の努力を怠りません。

しかし世の中の常で、不測の事態が発生するなど日程は遅れることはあっても、早まることは少ないです。遅延の原因で、どうにもならないのが「お天気」です。台風や土砂降りの雨など工事ができる状況ではない「お天気」となったら、ため息をつくしかありません。

日程遵守の努力

遅れた日程を取り戻すため人手を投入して進捗を早める努力もしますが、案件が輻輳していると、それも思い道理にならないこともしばしばです。

ここで、工期遵守のため厳しい天候条件のなかで、現場での体験した逸話を紹介いたします。はじめは厳寒の北国での話、信号機の高度化更新工事、工期は2月末でした。毎日、雪が降りなかなか晴れ間がありません。国道では連日の積雪は頻りに除雪がなされていましたが、柱がある歩道は雪が積もるばかりです。信号柱も更新しましたので、工事完成写真で建柱した柱の足もとを撮影する必要があり、その機会を待っていました。その日は朝から快晴、天気予報も一日晴れ写真撮影は「今日しかない！」。しかし時期が時期、他の工事日程と錯綜し、人手はありません。私たちは技術部員など担当でない物も助っ人に、朝から柱の根本の雪掘りです。連日、氷点下の気温が続き、積雪は圧雪となりほとんど「氷状態」です。スコップでは歯が立たず、つるはしで積雪をかち割りながらの除雪です。

早朝から除雪作業を始めましたが、快晴のため放射冷却で朝の気温は氷点下10度、顔はピリピリ痛いし、手足は冷たくかじかんだ状態で作業開始。つるはしを振り、スコップで雪をかきだす作業はかなりの力仕事で、体がだんだん温かくなり、しまいには汗をかくほど熱くなってしまいました。10交差点ほどを1日かかりで除雪と写真撮影をしました。寒い中、熱くなった話です。

次は、南国九州での話、大イベントに向けて、早期に端末機器整備工事が発注されました。工期は8月末の真夏となりました。工事期間が短期で連日、炎天下で現場作業が続きました。気温は35度を超えて金属物は素手では触れないほど熱くなっています。アスファルト道路は陽炎が上がり、たまに風が吹けば熱風です。額からは汗が滴り落ちなんとも過酷な作業環境です。そんな時、突然のスコール、バケツをひっくり返した様な土砂降りが急に！装置や機材等の養生を優先したため人間はずぶ濡れになりました。そのあと着替えるまで寒かったこと、暑い中、寒くなった話です。

今となれば、若いときの懐かしい思い出話ですが、日程遵守にまつわる苦労話です。

お天気まかせにならないために

ここまで書くと、なんだか「泣き言」「言い訳」ばかりになってしまいましたが、工事がお天気任せにならない様に、余裕のある工事日程が確保されることを望みます。

(株)京三製作所
風間 洋

お問合せ先

〒130-0026 東京都墨田区両国二丁目1番4号
一般社団法人全国交通信号工事技術普及協会事務局
TEL:03-6659-3586 FAX:03-3846-5582
URL: <http://www.zenshinko.jp/> E-mail: info@zenshinko.jp